

2015 年 10 月 12 日から 11 月 28 日にかけて、日本原子力研究開発機構の関西光科学研究所（京都府木津川市）に滞在し、「光電子・光イオン運動量同時計測法を用いた強レーザー場中分子ダイナミクスの研究」をテーマに板倉 隆二博士との共同研究を行った。

板倉博士は強レーザー場中における分子の解離性イオン化過程について、光電子・光イオン同時計測法を用い研究されている。今回の研究ではメタノール分子に、波長 400 nm のフェムト秒レーザーパルス照射したときに起こる解離性イオン化を調べた。昨年、一昨年にも研究所を訪問し共同研究を行ってきたが、今回は積算時間を長くすることによって、これまでには得られなかったより高い次数の微分断面積を得ることができた。

普段の大学での環境とは異なる、研究員の方々に囲まれた生活を通じて、研究者としての姿勢も学ぶことができ、大変有意義であった。板倉博士を始めとするレーザー量子制御研究グループならびに研究所の方々、そしてこのような機会を与えていただいた ALPS コースに感謝したい。